



ひのっこ

1学期ありがとうございました

本日7月19日、終業式を終え、71日間の1学期が無事に終わろうとしています。今年も暑い1学期後半となりましたが、学校の教育活動も以前のように水泳学習や音楽会などの行事に取り組んでまいりました。この間、皆様から様々なご支援・ご協力と、常に温かい励ましの言葉をかけていただいたおかげで、夏休みを迎えることができました。

明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みです。安全・安心で楽しく有意義な毎日が過ごせますようよろしくお願いいたします。

今年は、すでに異常なまでの酷暑となっています。環境省の「暑さ指数」の情報を活用し、くれぐれも熱中症にはお気をつけください。

運動に関する指針			
気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31~35℃	28~31	厳重注意(激しい運動は中止)	熱中症の危険が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28~31℃	25~28	警戒(積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり水分・塩分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休憩を取る。
24~28℃	21~25	注意(積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意すると共に、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全(適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

それでは、9月2日(月)の2学期始業式に、512名全員の明るく元気な笑顔が見られますよう、保護者の皆様・地域の皆様の見守りをお願いし、1学期のお礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

ほのぼのの交流 夏の巻

地域のお一人暮らしのご高齢の方と子ども達との接点となる「ほのぼのの交流」が7月9日(火)の午後にありました。

「ほのぼのの交流」は、23年前から続く貴重



な取組です。日野地区・鎌掛地区社会福祉協議会、地区長、民生委員・児童委員の皆さんと連携して「思いやりと誠実な心」を育む福祉教育の一つとして位置づけて実践しています。

子どもたちが「暑い日が続きます。お体に気を付けて過ごしてください。」と言葉を添えて、心を込めて書いたお手紙やプレゼントを渡していました。一緒に訪問する地域の方から挨拶の仕方や接し方なども教えていただき、活動後に出会った際にも声をかけていただき、ありがたいことだなあと感じました。この活動を通じて、世代の違う方々と一緒に、地域の大切な仕事の一つを担っているという思いを育んでいければと思います。

思い出に残る夏休みにしよう

今年の夏休みは、いつもならできないことを頑張ったというような自分が高まるような思い出をつくってほしいです。

- ★日記や絵日記を毎日続ける。
- ★本を100冊読んだり、シリーズ本を読んだりする。
- ★献立を考えて、買い物も自分でして、家族のために料理を作る。
- ★地域の「ラジオ体操」や行事に先で参加し、地域の方とのふれあいの機会を多く持つ。



夏休みならではの「思い出に残ること」に、チャレンジし、心も体も大きく成長して2学期を迎えてほしいと願っています。

ご寄贈いただきました

日野地区安全なまちづくり協議会さんから飛び出し人形とのぼりを、東洋化学株式会社さんからは、整理ケースと絆創膏をご寄贈いただきました。お礼申し上げます。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



《文責 校長：岩脇 俊博》